

災害と環境に関する研究への取組み

平成23年3月11日の東日本大震災発生後、国立環境研究所は東日本大震災復興・復興貢献本部を立ち上げ、国や地方自治体と連携・協働して、様々な被災地支援の研究活動を行ってきました。平成23年度後半には研究所の被災地支援活動が本格化し、災害廃棄物や放射性物質に汚染された廃棄物の適切な処理・処分方法などに関する「廃棄物・資源循環研究」と、生態系を含めた様々な環境中における放射性物質の動態解明・将来予測に関する「多媒体環境研究」を中心として、災害環境研究を鋭意推進してきました。



国立環境研究所福島支部の開設

地元ニーズにできるだけ応え、より一層現地に根ざした研究活動に取り組むため、福島県が現在整備を進めている環境創造センター内に国立環境研究所の福島支部を平成28年度に開設する予定です。福島支部を拠点として、被災地の復興支援と環境創造に向けた研究・調査活動を引き続き推進していきます。



I N F O R M A T I O N

国立環境研究所では、災害環境研究に関する様々な情報・成果を幅広く発信しております。

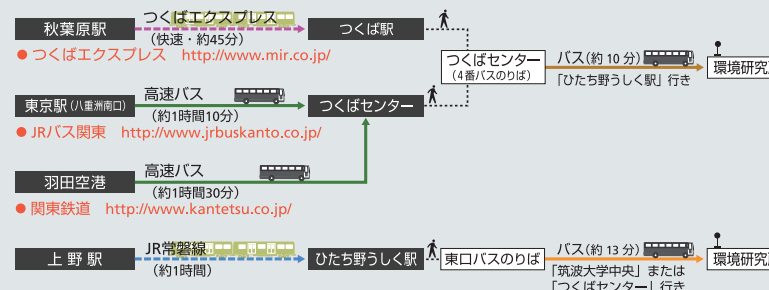


<http://www.nies.go.jp/shinsai/>

A C C E S S



交通機関ご案内



独立行政法人 国立環境研究所

住所 〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2
 電話 029-850-2306
 H P <http://www.nies.go.jp/>
 Email fukushima-po@nies.go.jp (福島支部準備室)

災害環境研究への取組み



東日本大震災からの復興と環境創造に向けて

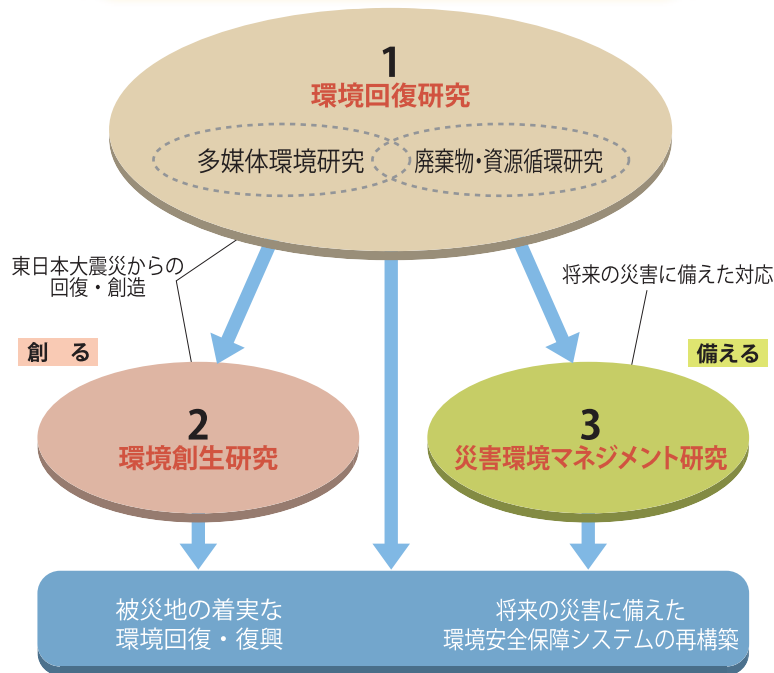
独立行政法人 国立環境研究所



3つの研究プログラム

国立環境研究所の災害と環境に関する研究は「環境回復研究」「環境創生研究」「災害環境マネジメント研究」の3つのプログラムを中心に構成されています。いち早い被災地の復興と環境回復を研究面・技術面で支援するとともに、将来の災害にも備えた環境にやさしいまちづくりに貢献していきます。

3つの研究プログラム



環境回復研究プログラム

- ・ 多媒体環境における放射性物質の動態解明及び将来予測
- ・ 生物・生態系影響に関する研究
- ・ 放射性物質汚染廃棄物管理システムの開発
- ・ 人への曝露量評価

環境創生研究プログラム

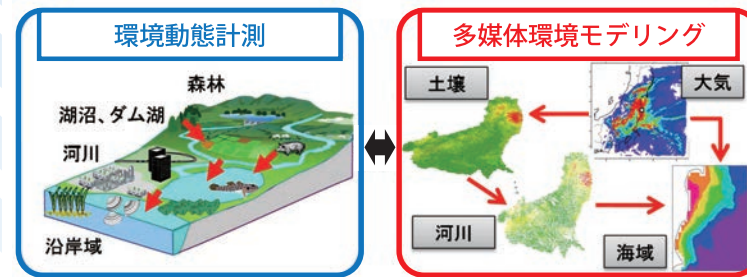
- ・ 環境創生の地域情報システムの開発
- ・ 環境創生の地域シナリオ解析モデルの開発
- ・ 参加型の環境創生手法の開発と実装

災害環境マネジメント研究プログラム

- ・ 災害時の資源循環・廃棄物マネジメント強靱化戦略の確立
- ・ 災害に伴う環境・健康のリスク管理戦略に関する研究
- ・ 災害環境研究ネットワーク拠点の構築

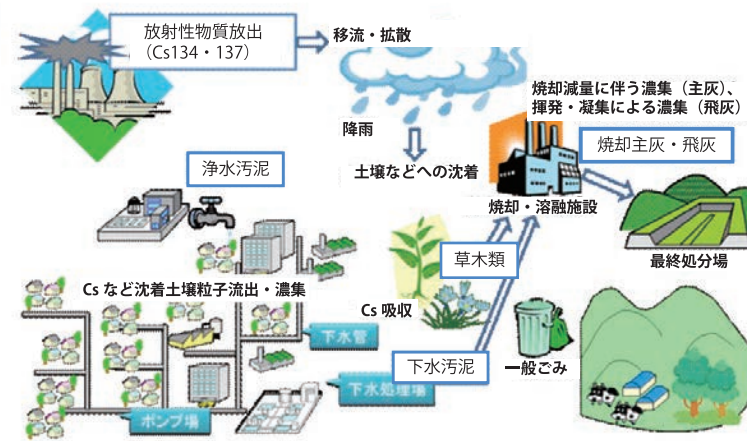
1 環境回復研究

放射性物質により汚染された被災地の環境回復を出来るだけ速やかに進め、安全・安心な生活を確保するための研究を推進します。



- ◆ 放射性物質はどれくらい残り、どのように動いている？ 将来は？
- ◆ 私たちの被ばく量は？
- ◆ 避難地域の野生生物は？ ◆ 自然生態系への影響は？

大気、森林、土壌、河川、湖沼、海域など様々な環境中における放射性物質の動態や自然生態系の変化などを明らかにするため、現地観測やシミュレーションモデルによる研究を行います。



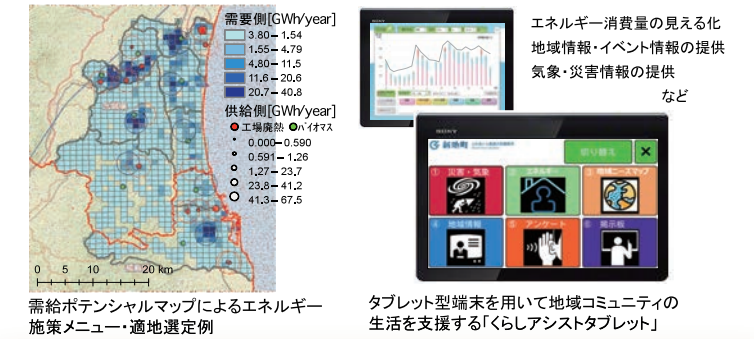
放射物質を含む廃棄物などの問題の構造

- ◆ 廃棄物を処理する過程での放射性物質の挙動は？
- ◆ 多様な汚染廃棄物を適切に管理する方法は？
- ◆ 施設を長期にわたって安全に管理するには？

放射性物質に汚染された廃棄物・土壌などの適正な処理・処分など技術・システムの確立に向けて、現地調査や室内・屋外での実験などの研究を行います。

2 環境創生研究

被災地の復興と新しい環境の創生を実現するための研究です。



需給ポテンシャルマップによるエネルギー
施策メニュー・適地選定例

タブレット型端末を用いて地域コミュニティの
生活を支援する「くらしアシスタタブレット」

- ◆ 住民や自治体、企業には、復興に向けたどのようなニーズがあるのか？
- ◆ 地域の復興・再生を図るためには、どのような社会を考えたらいのか？
- ◆ 地域の将来設計に、皆はどんな形で参加できるのか？

復興地域におけるエネルギー利用効率化や地域コミュニティの暮らしを支援する技術開発、自治体における復興の将来ビジョン構築をサポートする地域シナリオ解析モデルの開発、市民が参加する計画づくりや合意形成支援などの研究を行います。

3 災害環境マネジメント研究

将来の災害に備え、安全で安心な地域社会をつくるための研究です。



- ◆ 災害廃棄物を円滑に管理・処理するための方法・しくみは？
- ◆ 災害時の環境や健康をどのように管理し、守るのか？
- ◆ 社会の環境防災・減災力を向上させるために何が必要か？

将来の発生が予想される災害への備えとして、資源循環・廃棄物マネジメントの強靱化や環境・健康リスク管理戦略の確立、人材育成やネットワークの構築に向けた研究を行います。